

弁 論 部

現部長 輿水 渥大
前部長 高成 珠生
顧問 芳野・太田先生

十一月。全国青年弁論大会において、高成先輩が見事準優勝に輝きました。旭東弁論部史上最高となる大記録です。実は我が弁論部、毎年全国大会まで駒を進め、その度に上位入賞を果たしています。私が言うのも何ですが、「強豪校」です。

つというわけで、現部長の私、輿水は多大なプレッシャーを感じています。もし全国に届かなかつたら、旭東弁論部の看板に泥を塗ってしまう!!そんな気持ちから、「何を書けば全国に行けるんだよ。」「審査員ウケするにはどうしたらいいんやー!!」そう考えるようになってきました。

ある日、他校の弁論部の友人に今の悩みを話した時です。思いがけない叱責が飛んできました。

「弁論って『伝えたいこと』を伝えるものだよ。審査員や評価なんて気にする必要ないよ。」

と。私は心の中で、そんなただのキレイ言じゃんと思うのと同時に、以前顧問の芳野先生に、

「何か伝わって来ないんだよねあ。」

と言われたのを思い出しました。今までの自分には「伝えたい」という思いが足りていなかった。そう気づかされました。

もちろん、やるからには全国大会を目指します。しかし、その前に今自分は誰に、何を伝えたいのか、今一度考えたいと思います。人の心を打つ弁論には必ず、「気持ち」が込もっているはずですから。

